

平成31年10月－12月期 板柳町景気動向調査

青森県内の景気動向（7月－9月期）

青森県内の経済は緩やかな回復基調にあるものの個消費は落ち込みが見られる。住宅投資は減少、公共投資は増加、設備投資は低下となっているものの、雇用面では有効求人倍率が依然として高水準で推移している。

景況調査アンケート協力事業所

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
調査事業所数	6	9	12	18	45
有効事業所数	6	9	12	18	45

従業員規模	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	0	3	1	0	4
1～4人	3	5	10	16	34
5～10人	2	0	1	2	5
11～20人	1	1	0	0	2

過去3ヵ月（R1年7月～9月）と比較して、どうですか

Q1 売上額について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	2	2	1	2	7
2 横ばい	1	5	6	9	21
3 減少	3	2	5	7	17

Q2 今後3ヵ月の売上単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	1	1	1	3
2 横ばい	2	6	6	12	26
3 減少	4	2	5	5	16

過去と比較して増加が多くなっており、今後も横ばいで推移するとみている

Q3 仕入単価について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	5	7	6	11	29
2 横ばい	0	2	4	6	12
3 減少	1	0	2	1	4

Q4 今後3ヵ月の仕入単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	4	5	5	9	23
2 横ばい	0	4	5	7	16
3 減少	2	0	2	2	6

消費増税の影響か増加が半数以上あり、今後も増加傾向である

Q5 採算（収益）について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	1	1	2
2 横ばい	3	6	4	15	28
3 減少	3	3	7	2	15

Q6 今後3ヵ月の採算（収益）の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	1	1
2 横ばい	2	6	6	13	27
3 減少	4	3	6	4	17

半数以上が横ばいとし、今後も横ばいとしている

Q7 資金繰りにについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 好転	0	0	0	0	0
2 横ばい	5	7	6	16	34
3 悪化	1	2	6	2	11

Q8 今後3ヵ月の資金繰りの見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 好転	0	0	0	0	0
2 横ばい	5	7	6	16	34
3 悪化	1	2	6	2	11

横ばいもしくは悪化と感じており、今後も横ばいとしている

Q9 設備投資について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 投資した	1	2	1	3	7
2 投資しなかった	5	7	11	15	38

Q10 今後3ヵ月の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 投資したい	1	1	1	5	8
2 投資しない	5	8	11	13	37

→ 約15%が設備投資をし、今後も設備投資したいとしている

Q11 労働力について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	1	0	1
2 変わらない	3	8	7	15	33
3 減少	3	1	4	3	11

Q12 今後3ヵ月の労働力見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	0	0
2 横ばい	4	7	9	15	35
3 減少	2	2	3	3	10

→ 以前と変わらないとしたところが多く、今後の見通しも変わらない

Q13 前期と比べた景況の現状判断

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 良くなっている	0	0	1	1	2
2 変わらない	2	6	3	13	24
3 悪くなっている	4	3	8	4	19

Q14 今後の景況の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 良くなる	0	0	0	0	0
2 変わらない	2	5	7	13	27
3 悪くなる	4	4	5	5	18

→ 変わらないもしくは悪くなっていると、今後も同じ傾向の見通しとなっている

Q15 最も最優先される経営課題（複数選択可）

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 需要の低迷	3	3	6	4	16
2 販売価格の低下	1	1	4	1	7
3 原材料の高騰	3	8	4	10	25
4 人件費の増加	3	1	0	1	5
5 取引条件の悪化	2	0	0	0	2
6 同業者との競争激化	2	2	3	2	9
7 人材確保難	1	0	2	1	4
8 経営者の高齢化	1	1	2	6	10
9 後継者難	2	1	1	5	9
10 その他	0	2	1	2	5

→ 原材料の高騰及び需要の低迷が目立つ。次いで経営者の高齢化、後継者難があげられており、少子高齢化が経営課題とする意見も多い。

板柳町の景気動向（10月－12月期）

全業種で消費増税の影響を受け仕入単価が上昇している。さらに製造業では原材料不足による原料確保難であるとの声も聞かれる。建設業は年末にかけ売上は増加傾向であったが、今後は落ち着くとみている。小売業では需要の低迷に加えインターネット等による通信販売に顧客が流出したことによる売り上げ減少が課題となっている。サービス業はおおむね前期と横ばいとしながらも原材料の高騰が課題となっている。町内の事業所は景気回復の実感は得られていない状況である。今後は増税後の支払いや納税に係る資金繰りの悪化が懸念される。